

電車内 マナー守って

田辺工業高生らが啓発

電車内などで携帯電話で話をしたり、座り込んだりするマナー違反をしないように呼び掛ける「きのくにさわやかマナーアップキャンペーン」が19日、JR紀伊田辺駅(田辺市湊)周辺であり、田辺工業高校(同市あけぼの)生徒らが街頭啓発に参加した。

このキャンペーンは2003年度から始まり、県内14の警察署管内で高校生や各種団体らが合同で啓発活動に取り組んでいる。運動は年2回あり、今回は16、26日を予定している。

この日、参加したのは同校生徒のほか田辺署員、青少年補導センター職員、警察少年補導員、駅職員、県警本部少年サポートセンター職員の計25人。高校生が率先して駅の正面玄関や周辺の交差点に立ち、「ストップ、マナー違反」などと書いたティッシュなどの啓発物品を配った。また、駅駐輪場の利用者に施設を呼び掛けた。

田辺工業高校自治委員会の藤田郷副委員長(16)は「関心が薄いようだったので、あらためて携帯の使用禁止や床

に座らないなどのマナーを守り、電車に乗る時は気を付けるように呼び掛けた。自分も「うにしたい」と話している。



乗降客らにマナー向上を呼び掛ける田辺工業高校の生徒ら (19日、田辺市湊で)